

平成28年度病害虫発生予察注意報第4号

平成28年5月31日
愛 知 県

作物名：モモ

病害虫名：せん孔細菌病

1 発生地域 県内全域

2 発生程度 多い

3 注意報発表の根拠

(1) 5月下旬の巡回調査36ほ場において、13ほ場でモモせん孔細菌病の発生を確認した。発生ほ場率36.1%（平年20.3%、前年25.0%）、発病葉率8.7%（平年3.0%、前年2.4%）と、過去10年間と比較して発生ほ場率、発病葉率とも最も高かった。

(2) 名古屋地方気象台5月26日発表の1か月予報によれば、向こう1か月の降水量は平年並か多い見込みで、本病の発生に好適な条件である。

4 防除対策

(1) 発病した葉や枝は伝染源となるため、樹勢に影響しない範囲で取り除き、園外へ持ち出すなど処分を徹底する。

(2) 果実への発病を防ぐため、早めに袋かけを実施する。

(3) 防風ネットを設置し、防風対策を行う。

(4) 発生園では下表を参考に薬剤を散布する。特に、強風を伴う降雨が予想される場合は必ず薬剤防除を行う。

(5) 薬剤の使用にあたっては、薬剤感受性の低下を避けるため、作用機構が同じ薬剤の連用を控え、異なるFRACコードの薬剤をローテーション散布する（下表参照）。

表 モモせん孔細菌病に対する主な防除薬剤

薬剤名	成分名	使用時期	FRACコード
マイコシールド	オキシテトラサイクリン	収穫21日前まで	41
スターナ水和剤	オキシリニック酸	収穫7日前まで	31
チオノックフロアブル	チウラム	収穫7日前まで	M3
トレノックスフロアブル	チウラム	収穫7日前まで	M3
デランフロアブル	ジチアノン	収穫7日前まで	M9
バリダシン液剤5	バリダマイシン	収穫7日前まで	26

オキシテトラサイクリンを含む農薬には、マイコシールドの他にアグリマイシン-100があるので、総使用回数に注意する。

FRACコードは殺菌剤の作用機構による分類を示す。

FRACコードの詳細は、<http://www.jfrac.com/fracコード表/> を参照する。

薬剤の使用にあたっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

5 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室

電話：0561-62-0085（内線471）